

GCOE 国際会議出席報告書 (外国旅費用)

拠点リーダー 川合 光 殿

(ふりがな) 氏 名	やぎ けんと	所属・職名	指導教員名 (院生の場合)
	八木 絢外	天体核・D1	中村 卓史
Tel,Fax e-mail	075-753-3840 kent@tap.scphys.kyoto-u.ac.jp		
発表題名	Constraining alternative theories of gravity by gravitational waves from precessing compact binaries		
著者名	Kent Yagi, Takahiro Tanaka		
会議名称 ・開催期間	12 th Marcel Grossmann Meeting 自 2009 年 7 月 12 日 ~ 至 2009 年 7 月 18 日		
開催地 (国、市)	フランス、パリ		
出張期間	自 2009 年 7 月 11 日 ~ 至 2009 年 7 月 19 日		
国別参加者数	仏 : 119 名 伊 : 120 名 日 : 29 名 その他 : 618 名		
<p>発表内容、聴衆の反応、質疑応答、その他について簡潔に記述してください。 (口頭発表・ポスター発表の別も文中に明記すること。)</p> <p>私は上記の会議において口頭発表を行った。発表内容は、LISA や DECIGO といった将来の宇宙重力波干渉計を用いた場合、修正重力理論に対してどの程度強い制限を与えられるかというものである。今回は、重要であると認識されていたにも関わらず今まで取り入れられていなかった連星の自転歳差運動や軌道離心率を取り入れたより現実的な解析を行った。聴衆は本発表を興味深く聴いており、発表後も質問がいくつもあったが私の答えに納得していた。</p> <p>また、本研究と関連の深い発表があり、その発表者と面識を持って議論ができたことは非常に有意義であった。この発表者とは現在もメールで議論をしている最中であり、今後共同研究をする可能性もある。</p> <p>さらに、本研究と直接関わりの無い分野であっても興味深い発表がたくさんあり、幅広い知識を身につけられたため、とても価値のある時間を過ごすことができた。本研究とこれらの分野を融合した研究ができないかどうか、今後検討していく。</p>			